DMG MORI

DMG森精機株式会社

2026年度上半期 (1-6月) 決算説明資料

2026年8月4日

アジェンダ

DMG MORI

テーマ	発表者
1.　2026年度上半期 (1-6月) 決算概要	取締役CFO 太田
2.　事業環境・年度業績予想	取締役社長 森
3.　中期経営目標 ・　前中計期間の成果、中期経営戦略 ・　持続的成長の基盤 ・　注力領域 ・　工作機械需要予測 ・　業績目標概要 ・　キャッシュ・アロケーション、株主還元方針	取締役社長 森

決算ハイライト

DMG MORI

✓ 連結受注額：1-6月 3,352億円、前年同期(2025年1-6月)比 34.8%増。半期ベースで過去最高
1-3月 1,554億円 (+28.8% y/y) → 4-6月 1,798億円 (+40.5% y/y)

✓ 機械受注平均単価：81.8百万円 (2025年度：79.6百万円)、443千EUR (同：471千EUR)
平均単価高水準維持 (MX機とBX機、好バランス)

✓ MRO(メンテナンス・リペア・オーバーホール)、スペアパーツ、エンジニアリング受注額：737億円、前年同期比 23.3%増。連結受注に占める構成比 22.0%

✓ 2026年6月末 機械受注残 3,030億円 (2025年12月末：2,400億円)

✓ 2026年1-6月期実績：売上収益 2,767億円 (前年同期比：21.6%増)、EBITDA 278億円（同：21.1%増） EBITDA率 10.1%（前年同期：10.1%)
EBIT 93億円 (前年同期比：43.0%増) 、EBIT率 3.4% (前年同期：2.9%)、EAT 44億円、EAT率 1.6% (前年同期：0.9%)

✓ 2026年度予想を増額修正：連結受注額 6,300億円 (従来計画：5,800億円)、売上収益 5,800億円 (同：5,650億円)、EBITDA 670億円 (同：650億円)、EBITDA率 11.6% (同：11.5%)、EBIT 300億円 (同：280億円)、EBIT率 5.2% (同：5.0%)、EAT 155億円 (同：150億円)、EAT率 2.7% (同：2.7%)、1株当たり配当金は105円で当初計画通り

✓ 受注予想以上に伸長
航空、宇宙、防衛、発電、エネルギー、船舶、半導体関連、医療向けの受注が牽引
欧米のグローバル・キーアカウント企業からの指名買いや、中国の民間中堅・中小企業からの大口発注も追い風
マグネスケール(半導体製造装置向けレーザスケール)やSAKI(電子モジュールの自動検査装置)などグループ会社の受注も非常に好調

2026年度 上半期 (1-6月)決算概要

DMG MORI

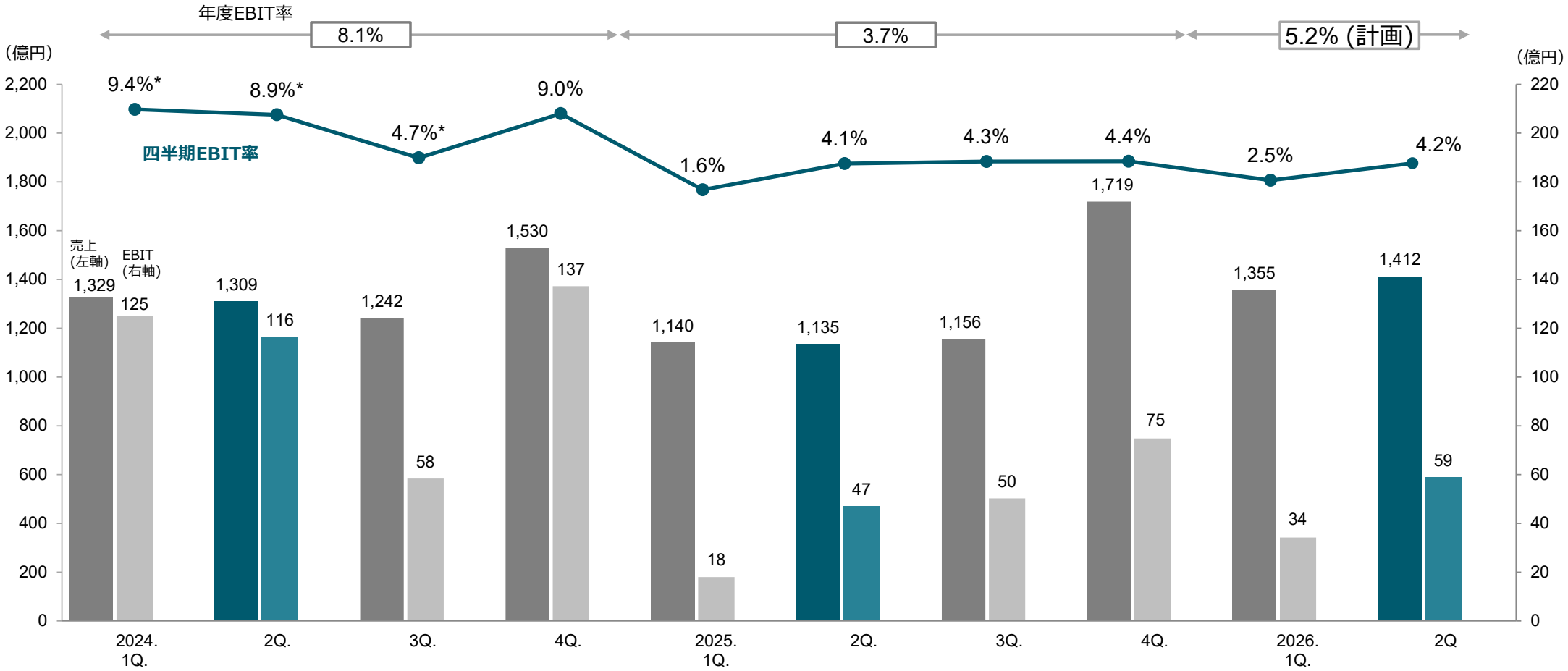
（億円）	2024年 1H	2025年 1H	2026年 1H	増減 (%)
連結受注	2,667	2,486	**3,352**	+34.8
連結受注残	2,730	2,332	**3,030**	
売上収益	2,637	2,275	**2,767**	+21.6
EBITDA	393	230	**278**	+21.1
EBITDA率	*14.9%*	*10.1%*	*10.1%*	
EBIT	241*	65	**93**	+43.0
EBIT率	*9.1%*	*2.9%*	*3.4%*	
継続事業からのEAT	153	21	**42**	+95.7
非継続事業からの損益	-151**	-	-	
EAT（親会社所有者帰属）	-0	21	**44**	2.1倍
償却費(リース含む)	152	165	185	
設備投資額	152	118	135	
研究開発費	155	152	155	
USD/JPY	152.3	148.6	158.2	
EUR/JPY	164.6	162.2	184.5	

*2024年第１四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社（旧倉敷機械株式会社）を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正。
** 2024年第１四半期に、一過性の連結除外損失91.8百万EUR (EUR/JPY=164.6換算で151億円) を認識。

四半期業績推移

DMG MORI

- 4-6月期は、前年同期比　24%増収、26%EBIT増益。前四半期（1-3月）比EBIT率改善基調
- 年度EBIT率5.2%を計画



*2024年第１四半期にDMG MORI Precision Boring（旧・倉敷機械株式会社）を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

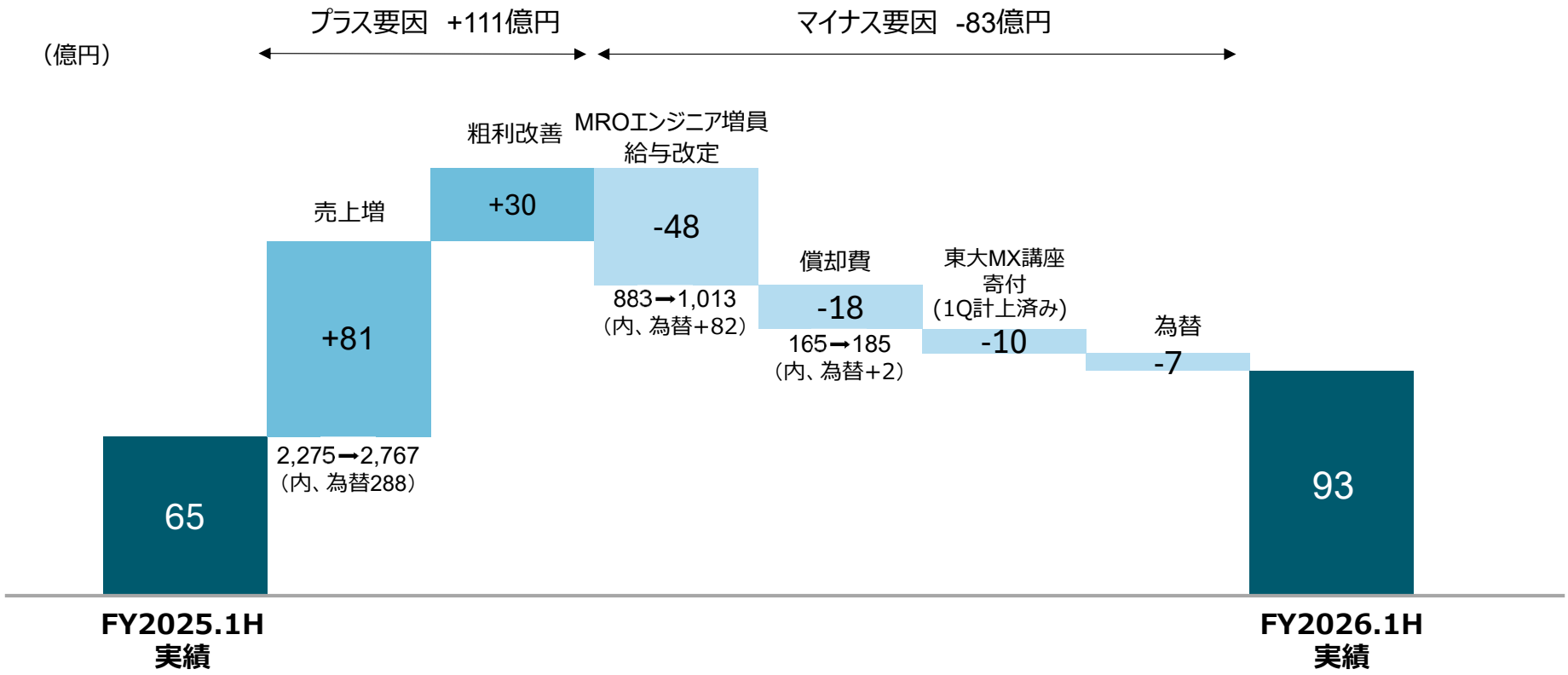
EBIT増減分析
2025年度上半期　v.s.　2026年度上半期

DMG MORI

- 売上増によるEBITへの貢献高まる
- MX製品の値引率低減、MRO、スペアパーツ、グループ会社の売上増による粗利益改善

（億円）	FY2025.1H	FY2026.1H	増減
売上収益	2,275	2,767	492

		FY2025.1H	FY2026.1H
為替レート：	USD/円	148.6	158.2
	EUR/円	162.2	184.5

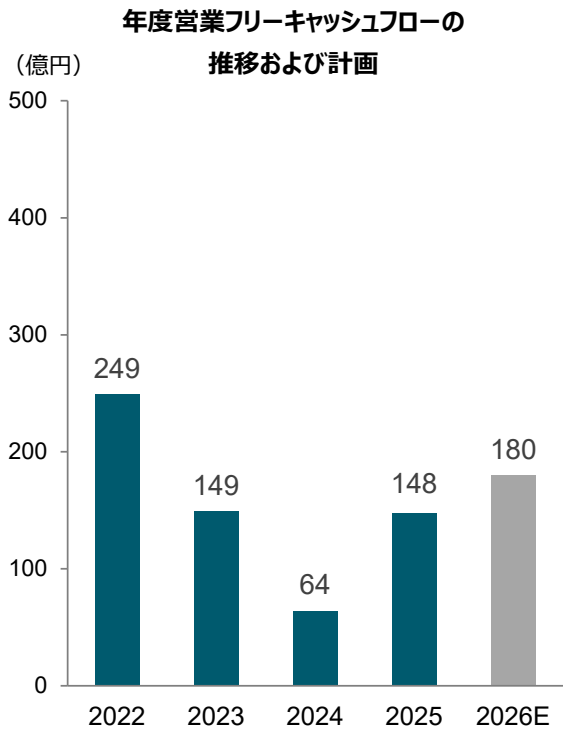


キャッシュ・フロー

DMG MORI

・第2四半期(4-6月)の営業フリーキャッシュフローは62億円の収入超。第1四半期(1-3月)の60億円の支出超から大幅改善
・年度営業フリーキャッシュフローは180億円の収入超計画。下半期の利益拡大、受注増好調に伴う前受金増が営業フリーキャッシュフローの更なる改善に寄与

（億円）	2024					2025					2026			
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q		FY (E)
営業キャッシュフロー	**95**	**-94**	**110**	**336**	**446**	**-38**	**51**	**-15**	**262**	**260**	**-11**	**135**		480
税引前四半期利益	110	104	38	119	371	4	29	36	40	109	20	40		
償却費	74	78	78	85	315	81	83	85	97	346	91	94		
運転資本増減	1	-138	14	118	-5	-46	-2	-65	56	-57	-32	-17		
その他	-90	-138	-20	14	-235	-77	-59	-71	69	-138	-90	18		
投資キャッシュフロー	**-106**	**-64**	**-96**	**-117**	**-382**	**-51**	**-60**	**96**	**-98**	**-112**	**-48**	**-73**		-300
営業フリーキャッシュフロー	**-11**	**-158**	**14**	**219**	**64**	**-89**	**-9**	**81**	**164**	**148**	**-60**	**62**		180
														(当初計画) 165

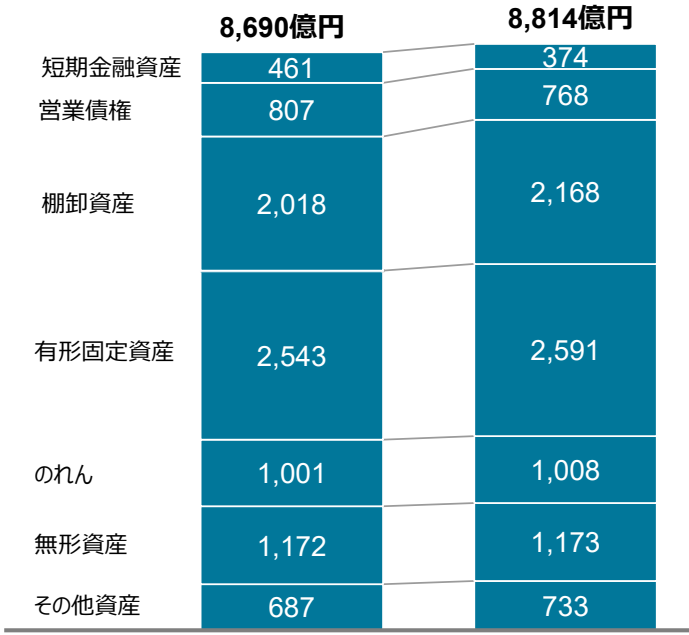


貸借対照表サマリー

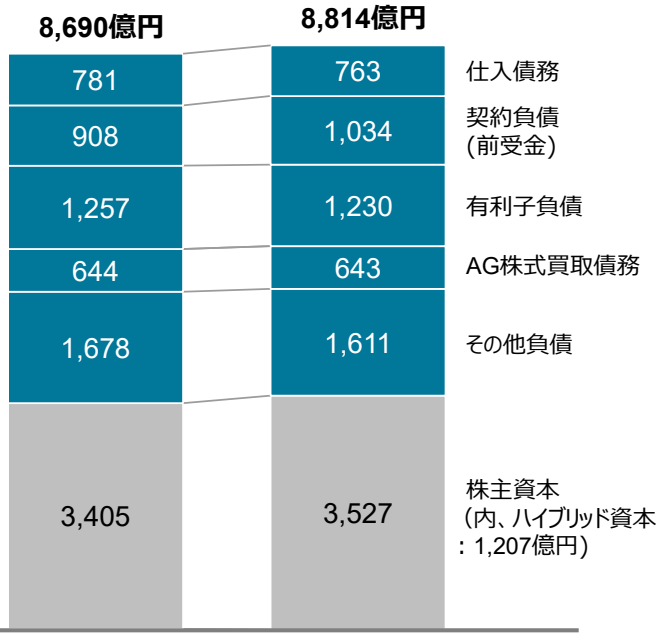
DMG MORI

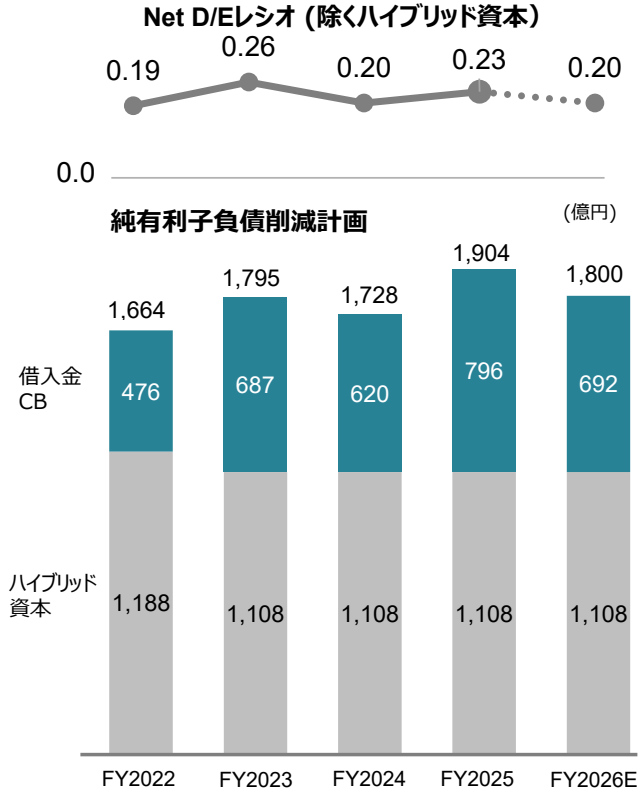
- 受注の好調に伴い前受金(契約負債）増加。下期売上増への対応で棚卸資産増加
- Net D/Eレシオは0.24と低位維持。年度末純有利子負債残高(ハイブリット資本含む)は1,800億円予想

資産の部



負債・資本の部





	2025年12月末	2026年6月末
期末日レート (EUR / JPY)	184.3	185.3

	2025年12月末	2026年6月末
株主資本比率	39.2%	40.0%
純有利子負債	796億円	856億円
Net D/Eレシオ	0.23	0.24

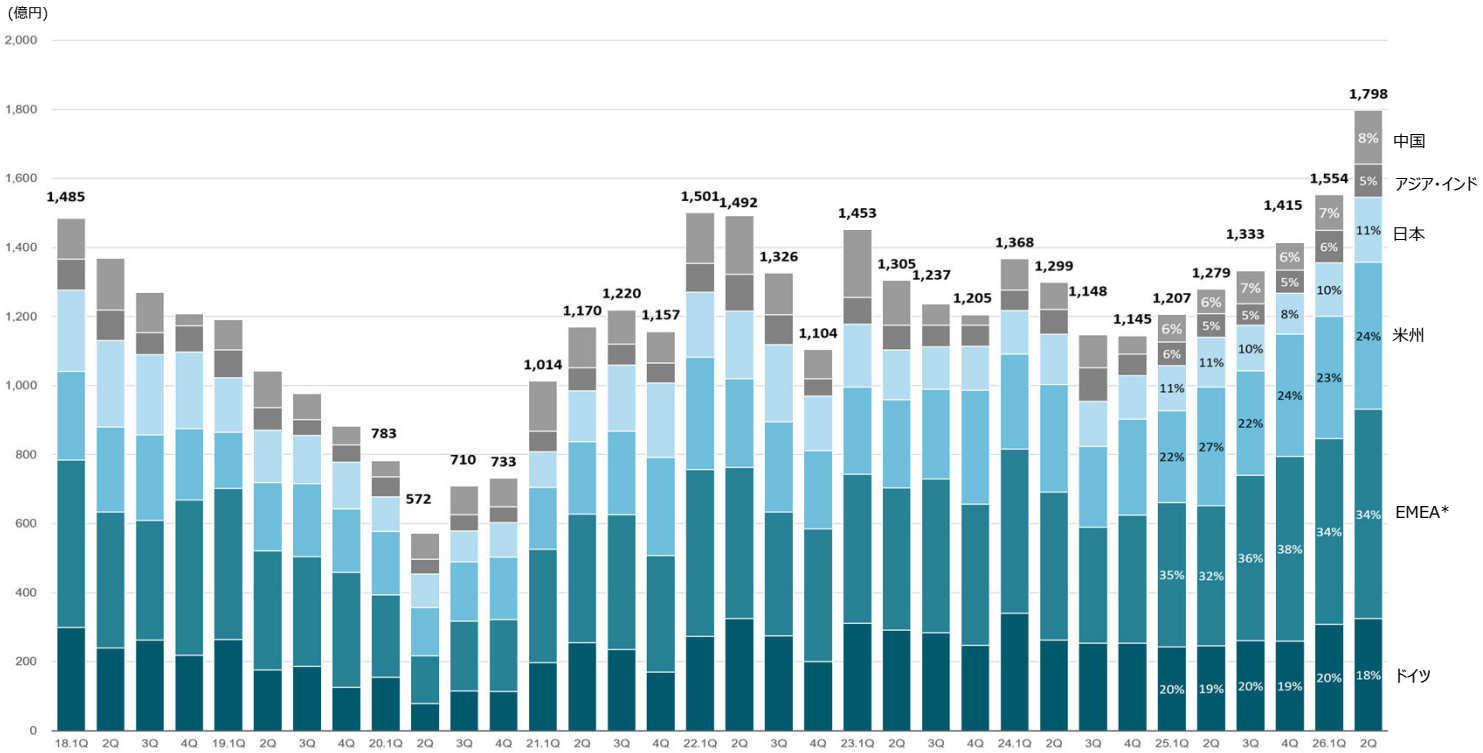
テーマ	発表者
1. 2026年度上半期 (1-6月) 決算概要	取締役CFO 太田
2. 事業環境・年度業績予想	**取締役社長 森**
3. 中期経営目標 • 前中計期間の成果、中期経営戦略 • 持続的成長の基盤 • 注力領域 • 工作機械需要予測 • 業績目標概要 • キャッシュ・アロケーション、株主還元方針	取締役社長 森

連結受注推移

DMG MORI

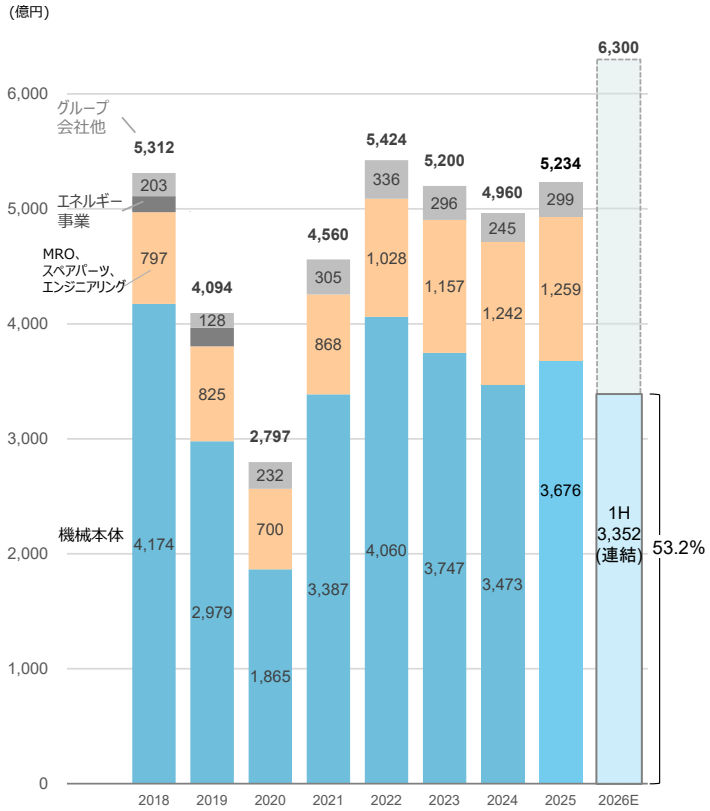
・第２四半期(4-6月）の連結受注額は1,798億円と、前年同期(2025年4-6月)比 40.5%増。２四半期連続で、四半期ベース過去最高額を更新
・年度の連結受注予想を5,800億円から6,300億円に増額修正。前年度比20%増（1,066億円増加）予想

四半期



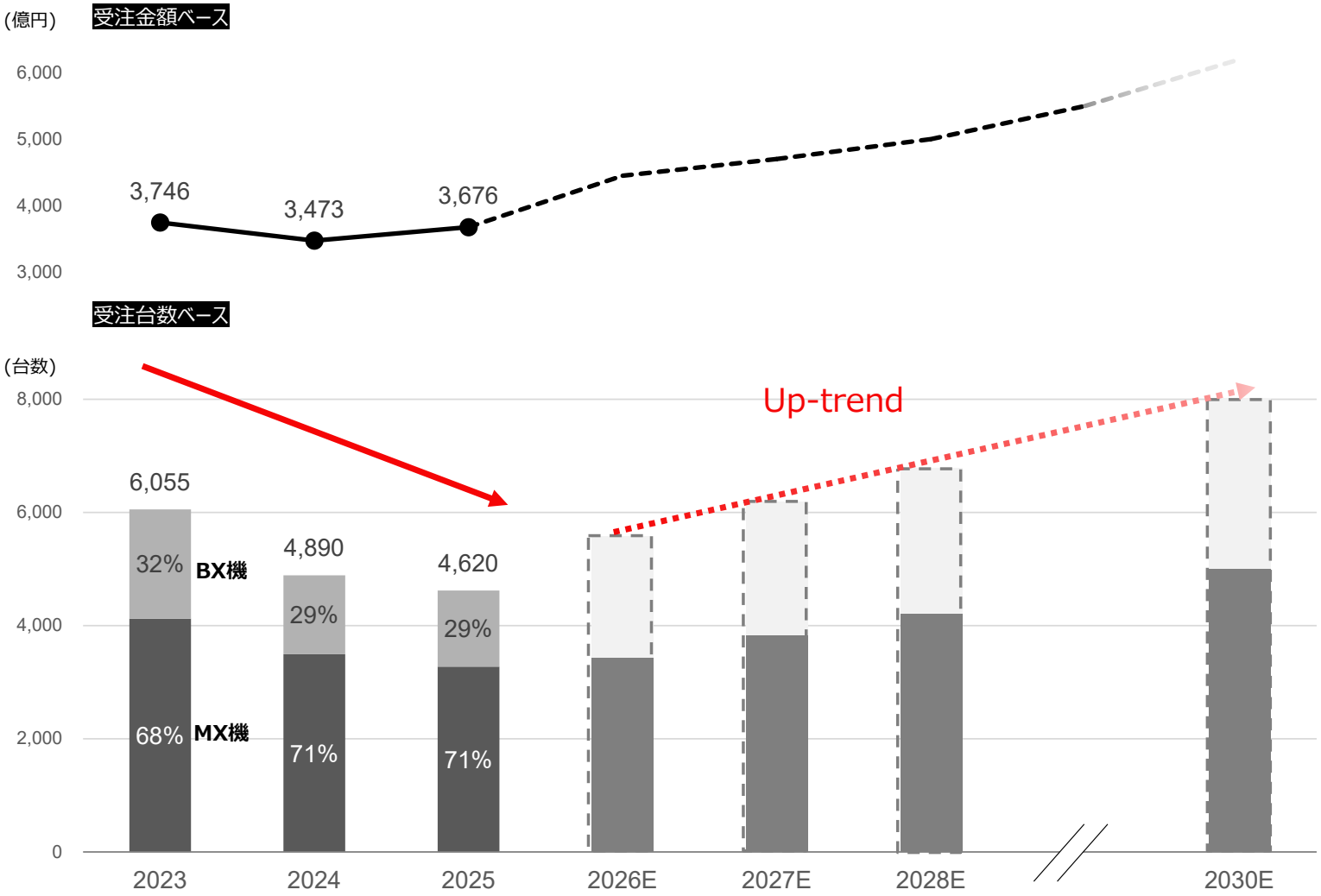
*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa

年度



工作機械受注推移：2026年以降受注台数、生産台数増加予想。工場稼働率改善

DMG MORI



年度業績予想及び上半期進捗率

DMG MORI

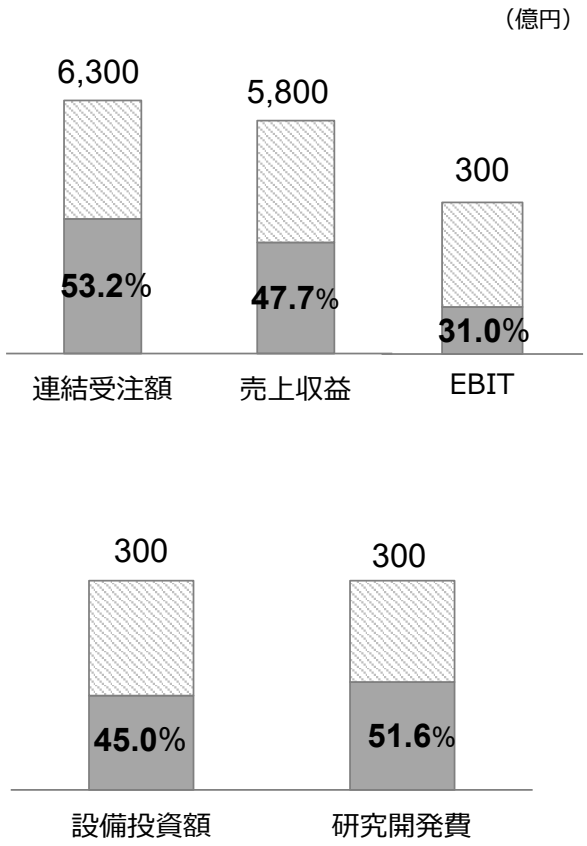
- 受注好調により、年度の連結受注額を6,300億円へ増額修正（当初計画：5,400億円→第1四半期決算時増額修正：5,800億円）
- 年度売上、EBITも再度増額修正

（億円）	2024年 通期	2025年 通期	2026年見通し (修正あり)	増減 (%)	従来計画 (5月1日発表)
連結受注	4,960	5,234	**6,300**	+20.4	5,800
連結受注残	2,180	2,400	**—**		—
売上収益	5,409	5,150	**5, 800**	+12.6	5,650
EBITDA	752	536	**670**	+25.0	650
EBITDA率	*13.9%*	*10.4%*	***11.6%***		*11.5%*
EBIT	437	190	**300**	+58.1	280
EBIT率	*8.1%*	*3.7%*	***5.2%***		*5.0%*
継続事業からのEAT	231	70	**155**	2.2倍	150
非継続事業からの損益	-151 *	172 *	**—**		—
EAT（親会社所有者帰属）	77	240	**155**	-35.5	150
償却費(リース含む)	315	346	**370**		370
設備投資額	438	295	**300**		300
研究開発費	314	317	**300**		300
USD/JPY	151.6	149.7	**154.1** **		150
EUR/JPY	164.0	169.0	**182.3**		180

*2024年第１四半期に、一過性の連結除外損失91.8百万EUR (EUR/JPY=164.0換算で151億円) を認識。
2025年に海外貿易保険金 約102百万EUR (EUR/JPY=169.0換算で172億円) を受領。

**下半期の想定レート
USD/JPY = 150
EUR/JPY = 180

年度計画に対する上半期進捗率



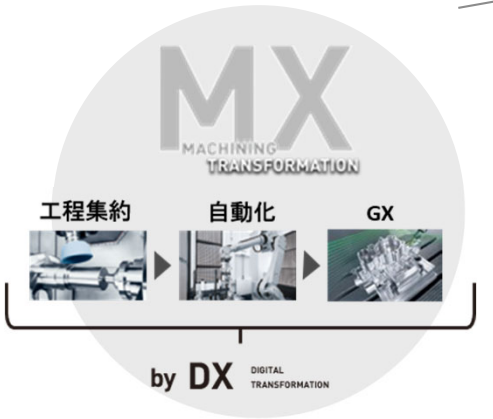
テーマ	発表者
1. 2026年度上半期 (1-6月) 決算概要	取締役CFO 太田
2. 事業環境・年度業績予想	取締役社長 森
3. 中期経営目標	**取締役社長 森**
• **前中計期間の成果、中期経営戦略**	
• **持続的成長の基盤**	
• **注力領域**	
• **工作機械需要予測**	
• **業績目標概要**	
• **キャッシュ・アロケーション、株主還元方針**	

DMG MORI

MXのさらなる発展

MXを基盤に、Machining Intelligenceで価値創出を拡張

Current MX



MX基盤の確立
ー売上 8,000億円の経営資源確保ー

- ✓ One Stop Machining Solution Provider
  (最先端工作機械、自動化システム、ソフトウエア、周辺装置を１社で提供)
- ✓ 128拠点で直販売・MRO、エンジニアリングサポート
- ✓ グローバル18生産拠点
- ✓ *my* DMG MORIを通してお客様とのつながりを強化

MI
(Machining Intelligence)
ー蓄積した加工知のフル活用ー

CELOS Xchange

Next Generation MX

AI開発
国家プロジェクト
GENIAC事業
共同研究
産業技術総合研究所

実運用データを活用したAI基盤の確立

生産設備データエコシステムの実現

DMG MORI
Software-Defined

- ソフトウェア随時更新、機能拡張
- セキュアなデータ蓄積

Process Force Monitor

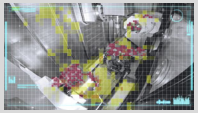
Tool Visualizer

CELOS VISUAL*programming* 3D

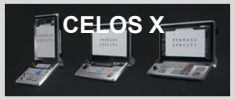
CELOS DYNAMIC*post*

デジタルツイン技術

DMG MORI AI活用


AIチップリムーバブル

Condition Agent
予兆保全サービス



✓高速データ収集
✓ リアルタイムAI分析

AIエージェントの工作機械実装

お客様へ高い価値・信頼を提供
稼働率向上、生産性向上、品質安定化、コスト削減、高付加価値加工

当社の企業価値の向上
受注安定成長、売上拡大、利益率改善、キャッシュ創出力の向上

持続的成長の基盤　お客様との接点を強化するグローバルプレゼンス

DMG MORI

伊賀事業所（日本）

フロンテン工場（ドイツ）

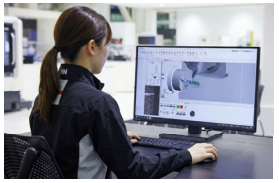
DMG MORI グローバルプレゼンス

18

生産拠点

128

直接販売・直接MRO (サービス),
エンジニアリング拠点



お客様の機種選定から、使用、廃棄まで、工作機械のライフサイクルをサポート

30万 累計稼働台数	**15万** お客様数	**3,300** エンジニア人数 **1,100** アプリケーション **2,200** MRO	**300** テストカット機	**12** オペレーター育成研修施設	**4** グローバルパーツセンタ拠点

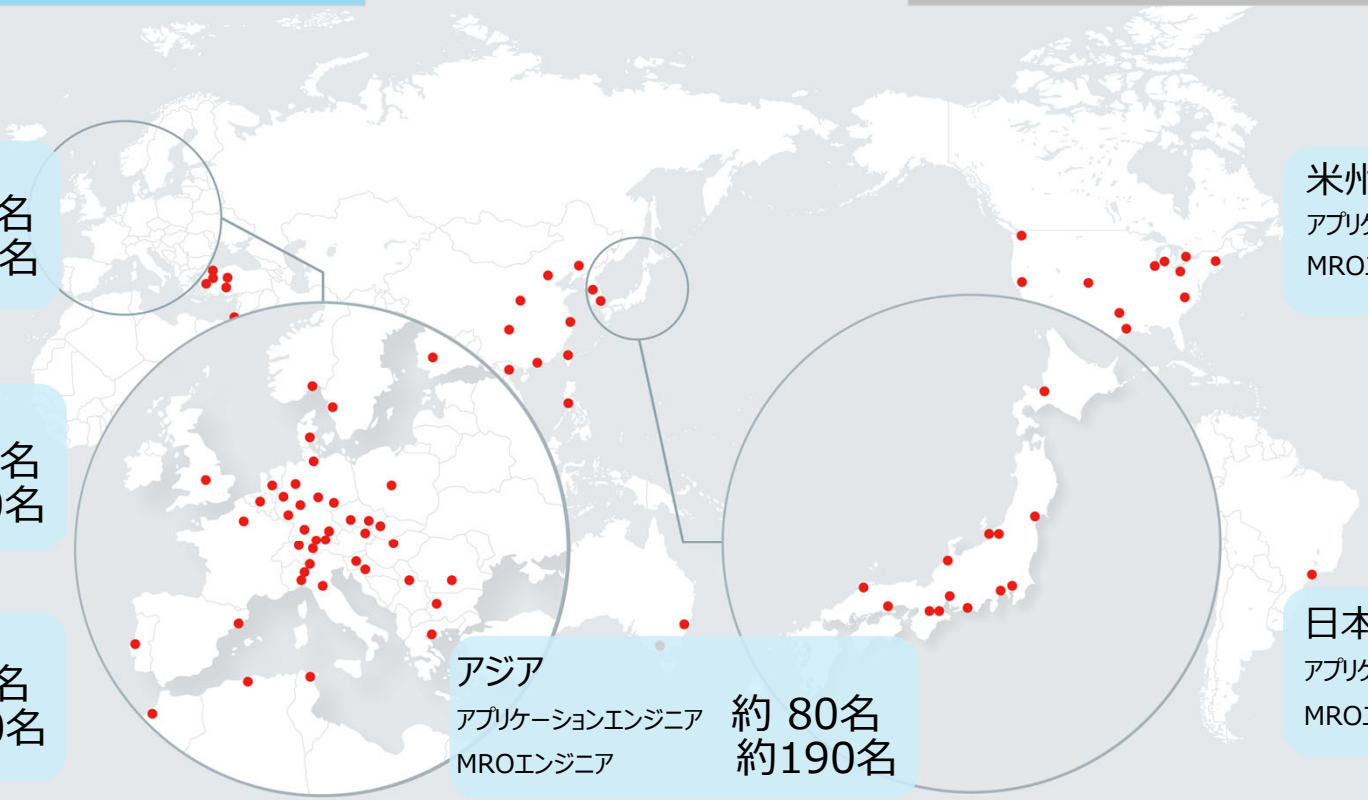
持続的成長の基盤　アプリケーションエンジニア、MROエンジニア強化

DMG MORI

全世界のMROエンジニア
現地で迅速にお客様サポート

×

デジタルのお客様窓口
my DMG MORIで接点を拡張



ドイツ
アプリケーションエンジニア　約200名
MROエンジニア　約600名

EMEA
アプリケーションエンジニア　約200名
MROエンジニア　約710名

中国
アプリケーションエンジニア　約 70名
MROエンジニア　約100名

アジア
アプリケーションエンジニア　約 80名
MROエンジニア　約190名

米州
アプリケーションエンジニア　約240名
MROエンジニア　約300名

日本
アプリケーションエンジニア　約310名
MROエンジニア　約300名

45 countries

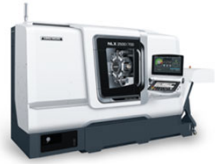
128 locations

人員構成　アプリケーションエンジニア　1,100
MROエンジニア 2,200

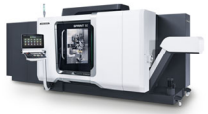
注力領域　高付加価値加工を実現する製品ポートフォリオ

DMG MORI

15%
BX Machine
(Basic Machine)



(Turning Center)
NLX 2500 | 700
(1st Generation)



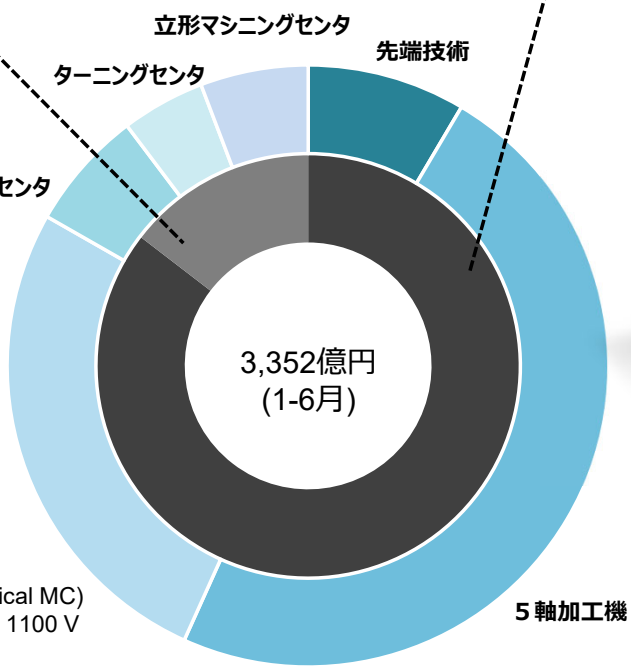
(Turning Center)
SPRINT 50

(Vertical MC)
CMX 600 V

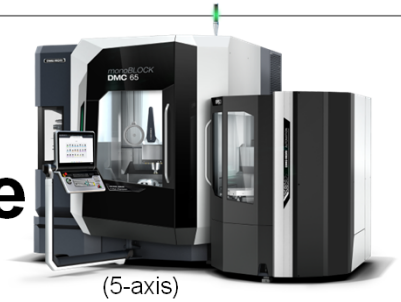
(Vertical MC)
CMX 1100 V

(Vertical MC)
DMV 60

(Vertical MC)
NVX 5100 2nd Generation

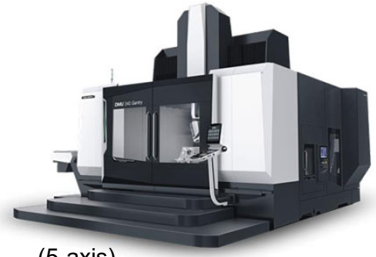


85%
MX Machine

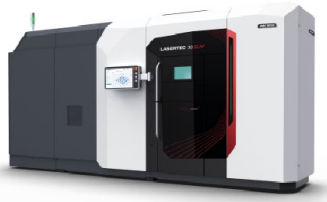


(5-axis)
DMC 65 monoBLOCK 2nd Generation +
Automation system: RPS3
ワークサイズ: φ840×500 mm
※一部の形状は制限されます

(5-axis)
INH 63 FD
ワークサイズ: φ1,070×1,000 mm



(5-axis)
DMU 340 Gantry
ワークサイズ: 7,000×2,700×1,780 mm

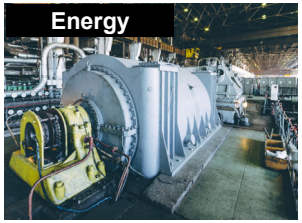


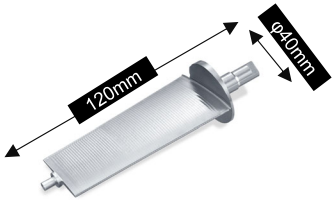
(Advanced Technology)
LASERTEC 30 *SLM* 3rd Generation
ワークサイズ: 325×325×400 mm

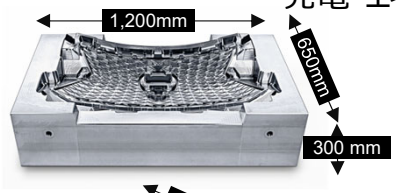
(Mill-turn center)
NTX 1000 3rd Generation +
Automation system : MATRIS
ワークサイズ: φ430×800 mm

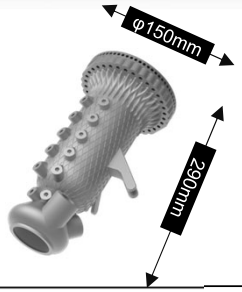
注力領域　成長産業へのアプローチ

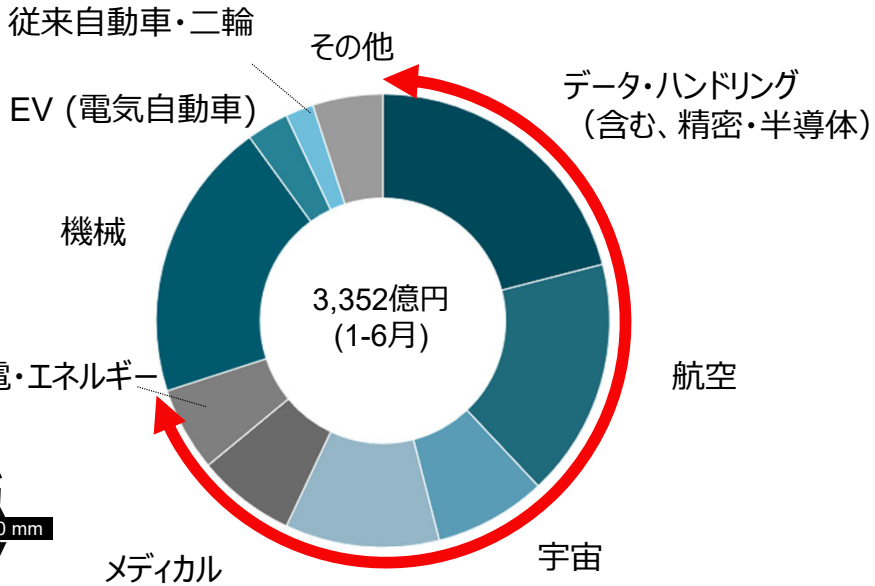
DMG MORI





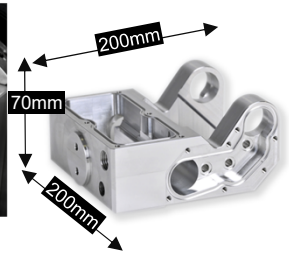


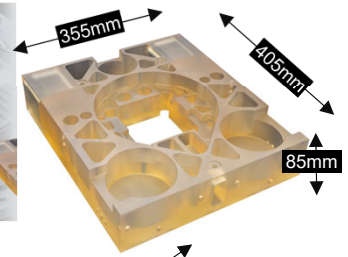


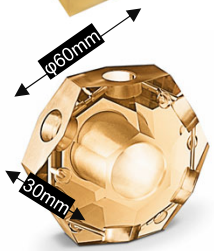


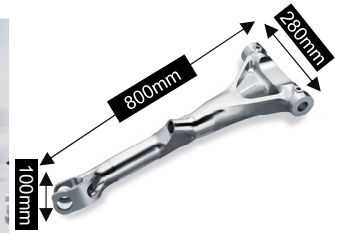
成長産業

構成比 約**70%**









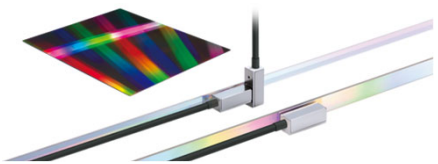
注力領域　半導体関連グループ会社の収益貢献

DMG MORI

✔ 半導体製造装置・データセンタ関連需要の拡大 ➡ 2社で受注額500億円（2030年計画）

Magnescale
SPEED × PRECISION

■ 半導体製造装置・工作機械向け
超精密計測システム



光学式エンコーダ「レーザスケール」

マグネスケール 奈良事業所（2026年4月開所）

磁気式エンコーダ「マグネスケール」
（直線・回転）

（受注金額）

FY2026E		FY2030目標
約**200**億円	➡	**300**億円

SAKI
DMG MORI Group

■ 実装基板自動外観検査装置及び
X線自動検査装置

X線自動外観検査装置

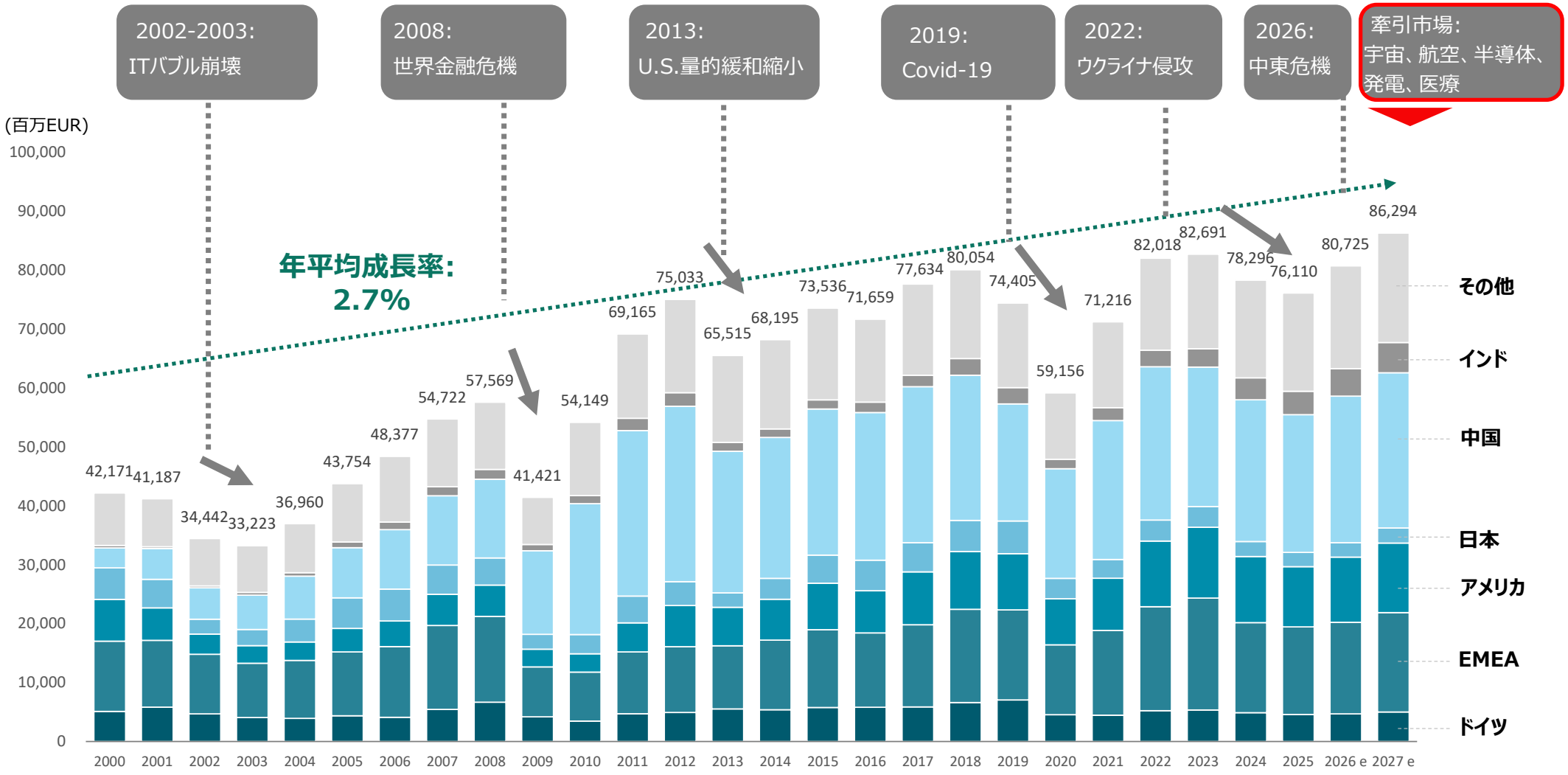
サキコーポレーション 奈良事業所

（受注金額）

FY2026E		FY2030目標
約**100**億円	➡	約**200**億円

ドイツ工作機械工業会（VDW）による全世界工作機械需要予測

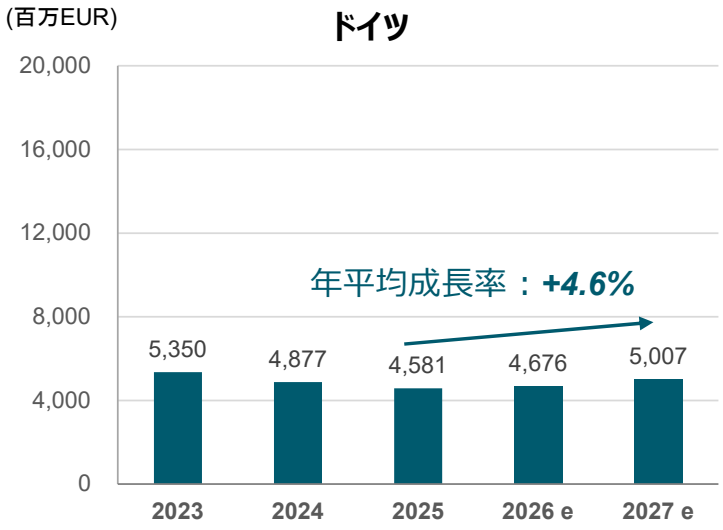
DMG MORI

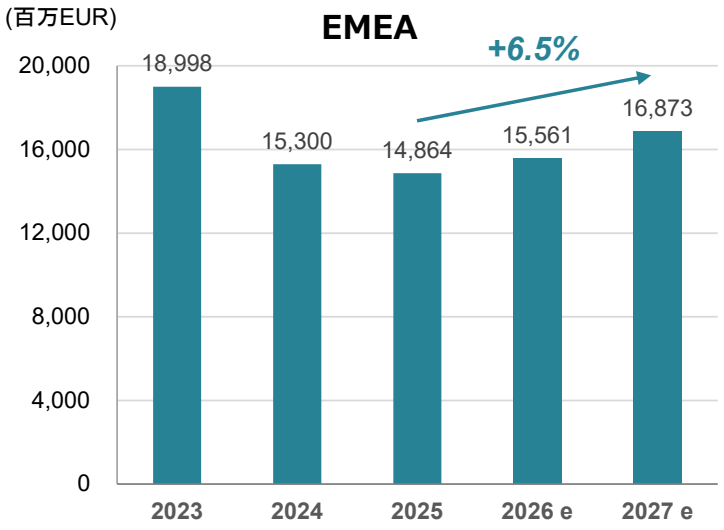


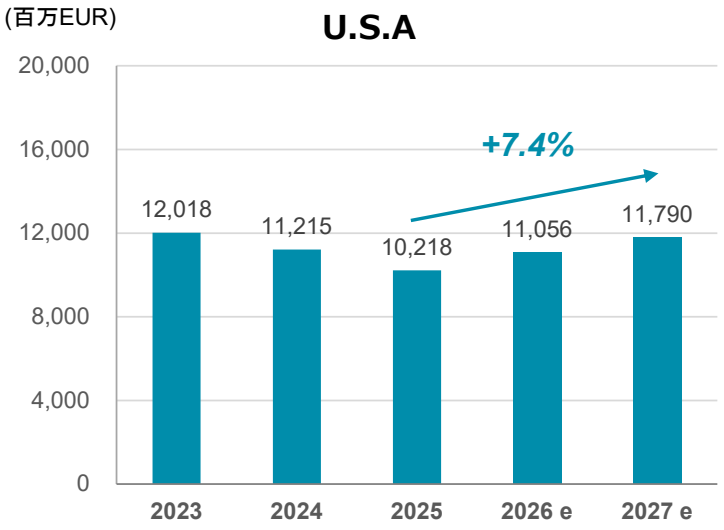
(出典: VDW/ Oxford Economics)

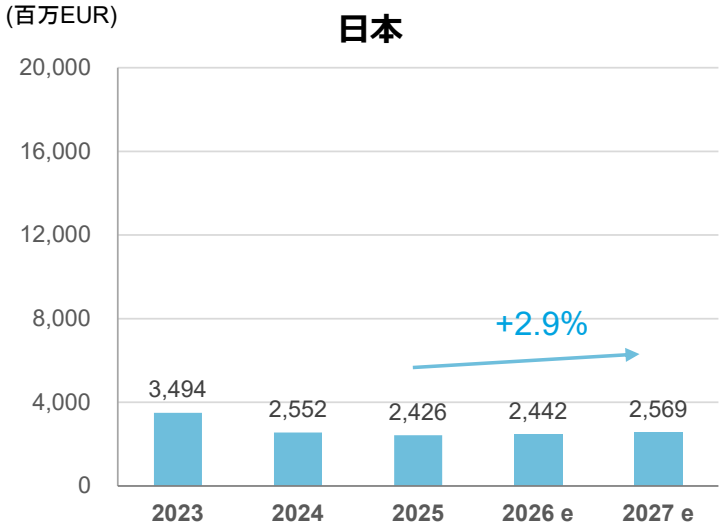
ドイツ工作機械工業会（VDW）による全世界工作機械需要予測

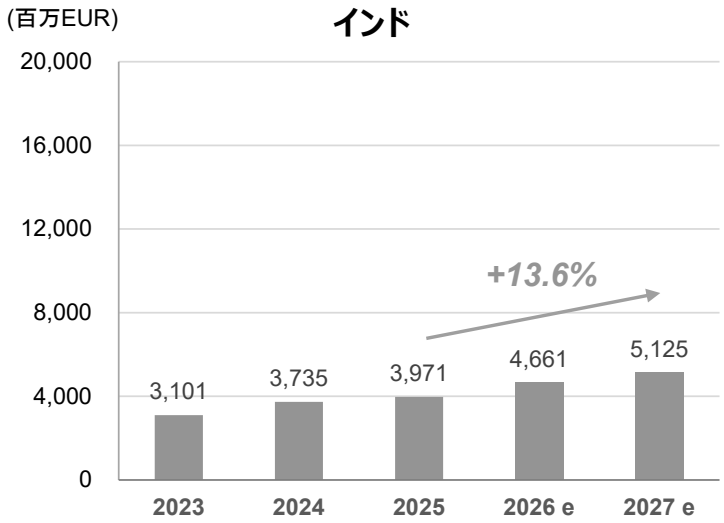
DMG MORI

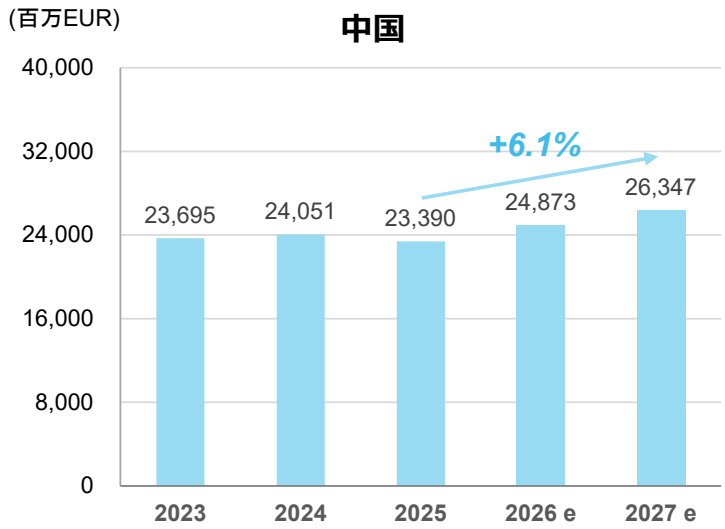








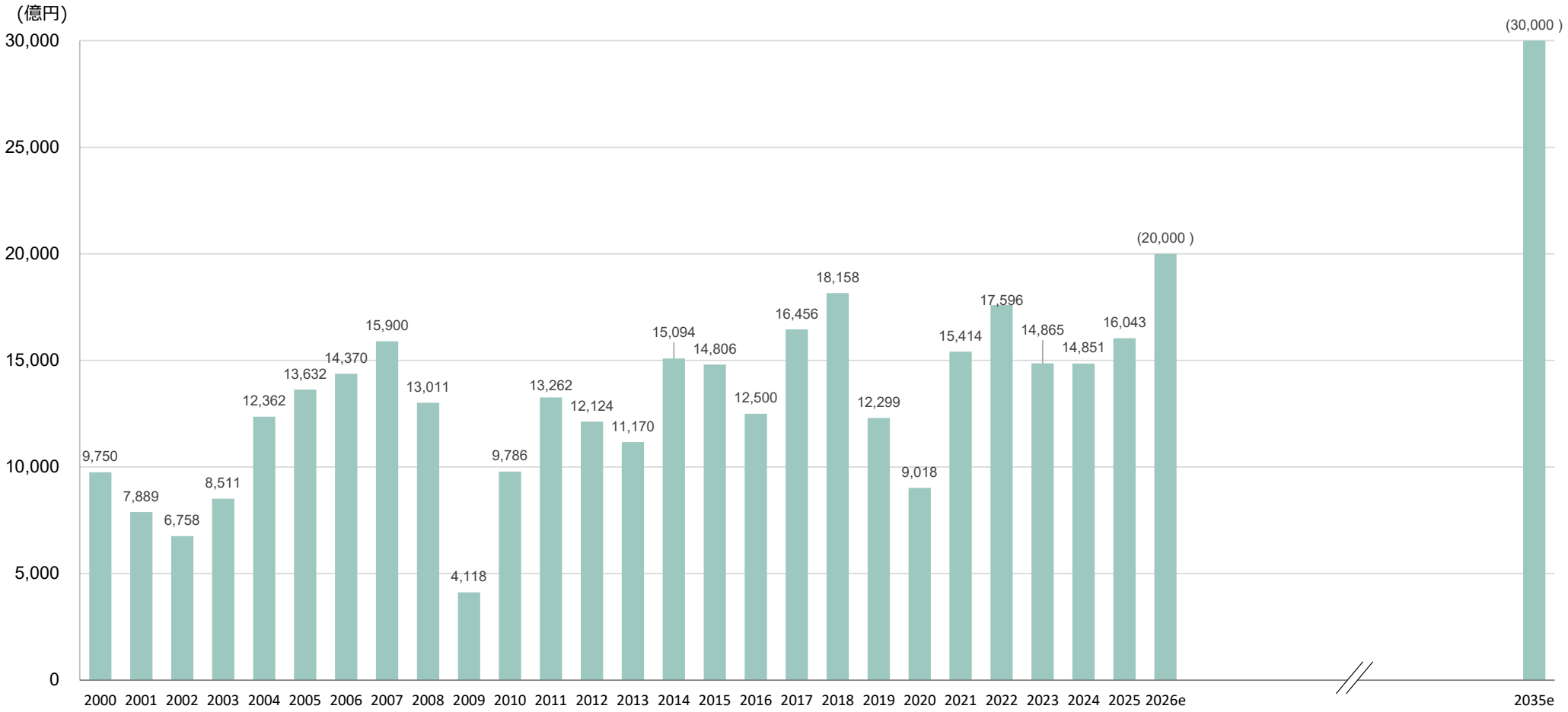




(source: VDW/ Oxford Economics)

日本工作機械工業会（JMTBA）の受注推移

DMG MORI



(出典:日本工作機械工業会,2035年予想は当社見通し)

中期業績目標概要

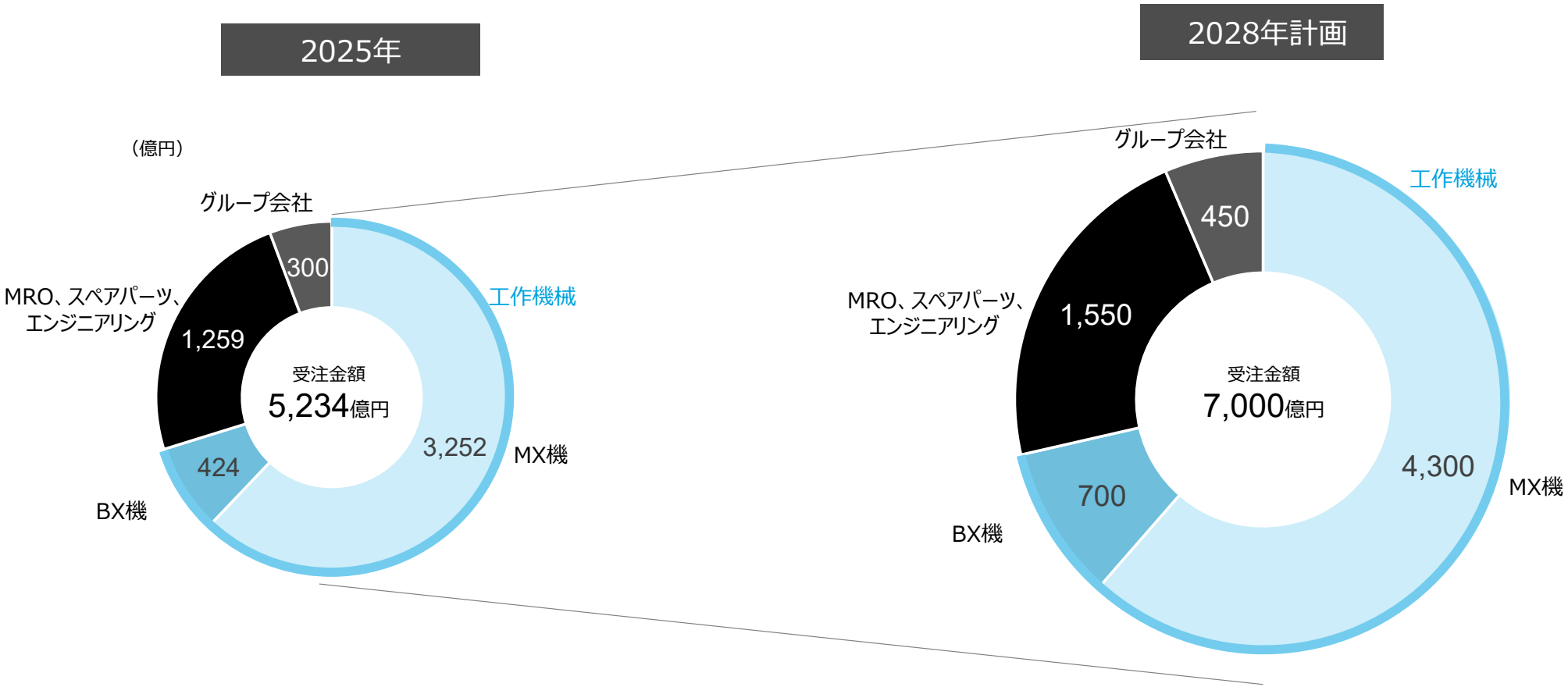
DMG MORI

(億円)	FY 2025A	FY2026予想	FY2027 目標	FY2028 目標
連結受注	5,234	6,300	**6,650**	**7,000**
売上収益	5,150	5,800	**6,300**	**6,800**
EBIT (EBIT率 %)	190 *(3.7%)*	300 *(5.2%)*	**510** ***(8.1%)***	**685** ***(10.1%)***
EAT（親会社所有者帰属） (EAT率 %)	240 *(4.7%)*	155 *(2.7%)*	**305** ***(4.8%)***	**430** ***(6.3%)***
1株当り年間配当金 （円）	105.0	105.0	**110**	**120**
ROE (%)	6.5%	>4.0%	**>8.0%**	**>10.0%**
償却費(リース含む)	346	370	**370**	**370**
設備投資額	295	300	**300**	**300**
研究開発費	317	300	**300**	**300**
株主資本比率 (%)	39.2%	>39.0%	**>40.0%**	**>42.0%**
純有利子負債残高 (ハイブリッド資本含む)	1,903	1,800	**1,750**	**1,600**
D/Eレシオ (ハイブリッド資本含む)	0.56	0.55	**<0.50**	**<0.45**

業績目標概要

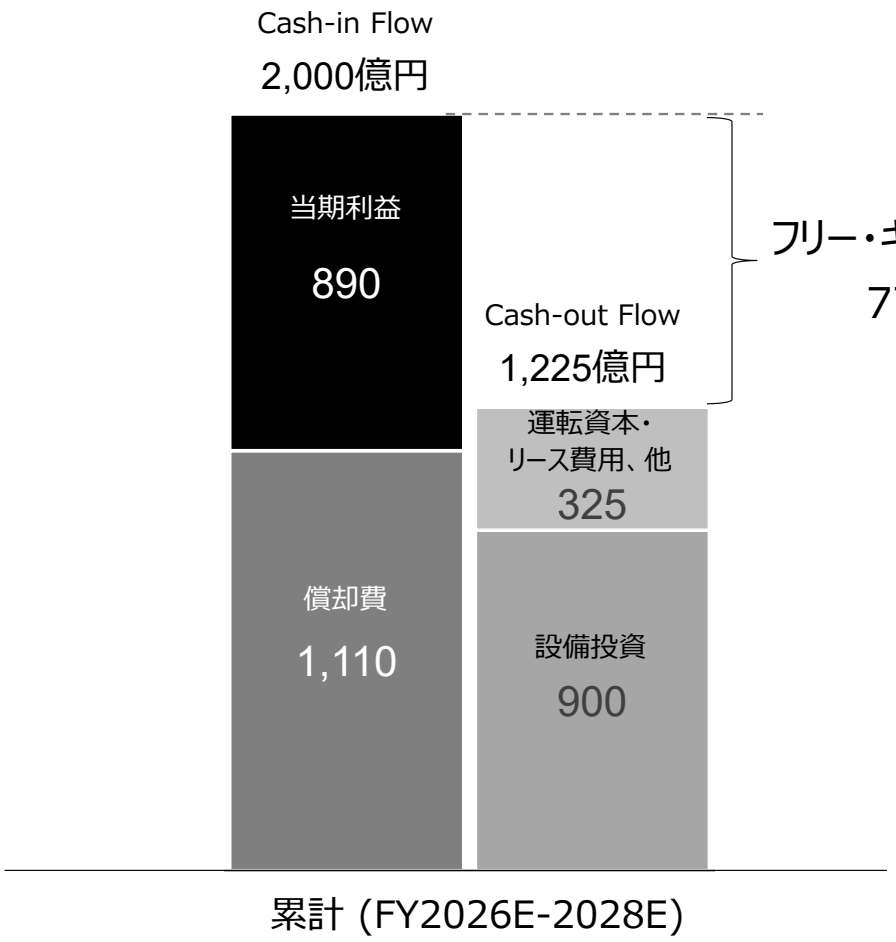
DMG MORI

受注構成に占めるMRO、スペアパーツ、エンジニアリング、グループ会社の貢献の拡大



キャッシュ・アロケーション、株主還元方針

DMG MORI



フリー・キャッシュフロー
775億円

配当金	475億円
有利子負債返済	300億円

	2025	2028E
純有利子負債残高(ハイブリット含む)	1,904億円	約1,600億円
純有利子負債比率	0.56	<0.45
株主資本比率	39.2%	>42.0%

免責事項

DMG MORI

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更

当資料に掲載されている各企業様のロゴ・商標は、各企業様の所有物であり、商標権・著作権を尊重した上で、情報提供を目的として使用しております。